

◇第14回 MR認定試験 平成19年12月

薬剤学

No.	解答	解説	ページ
1	2	都道府県知事 → 厚生労働大臣	81L
2	2	精神的依存を認める → 高度な薬学的知識を必要とする	82L
3	2	寒天 → ゼラチン(グリセリン、ソルビトール増量)	87L～R
4	1		90L
5	2	弱毒生ワクチン → 不活性化ワクチン	92L
6	2	影響しない → 影響する	94L
7	2	含量均一性試験のみが適用される	95R
8	1		95R
9	1		96L
10	1		97R
11	1		98L
12	2	ブリスター包装 → ストリップ包装	102L, 103L
13	1		110R
14	1		119L
15	1		119L
16	2	FDA → WHO	119L
17	2	用いることはできる → 用いることはできない	119L
18	2	2006年8月追加成参照 調剤して良い → 調剤してはいけ ない	119L
19	1		120L
20	1		120L
21	2	妊娠後期 → 器官形成期	120R
22	1		121L
23	2	30分前 → 30分～60分前に	121R
24	2	朝食後 → 就寝前	121R
25	1		123L
26	2	初回通過効果を受ける → 初回通過効果を受けない	132L
27	2	静脈内には水溶液、O/W型乳剤で投与	130R
28	2	低下 → 増加	133L
29	1		136R
30	1		137R
31	3		81R
32	2		82R
33	2		85R
34	3		86R
35	3		101R
36	3		114R
37	3		120R
38	2		
a	正		122L
b	誤	配合注意 → 配合不適	122R
c	正		122R

◇第14回 MR認定試験 平成19年12月

薬剤学

No.	解答	解説	ページ
39	3		132R
40	2		141～142
a	正		
b	誤	クリアランス増加 → 低下	
c	正		
41	1		89L
42	2		93R
43	3		96～97
a	正		
b	誤	アルカリ → ほぼ中性	
c	誤	適用される → 適用されない	
d	正		
e	正		
44	4		98L～99L
1	誤	確認試験 → 純度試験	
2	誤	純度試験 → 定量法	
3	誤	物理的方法 → 生物学的または化学的方法	
4	正		
5	誤	過酷試験を先行させる	
45	4		113L
46	5		116☒
47	4		123L
1	誤	トリアゾラムの催眠作用を増強	
2	誤	てんかん発作の再発	
3	誤	痙攣を起こすことがある	
4	正		
5	誤	QT延長	
48	3		123R
49	3		
a	正		131R
b	誤	W/O型 → O/W型が適用となる	130R
c	誤	筋肉内投与 → 皮下に投与	134R
d	正		131R
e	正		129R
50	5		141R
a	誤	広い → 狭い薬物である	
b	誤	線形性 → 非線形性を示す薬物	
c	誤	個人差が小さな薬物 → 個人差が大きな薬物	
d	正		
e	正		